特定小電力トランシーバー
BC-20
取扱説明書

この度、COMPASS BC-20 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。

お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことがあった時に、再度お読みください。

このトランシーバーは日本国内専用機器です。海外ではご使用できません。

目次

安全上のご注意 2
BC-20 の便利な機能 5
準備 6
　同梱品の確認 6
　電池の取り付け 6
　ベルトクリップの取り付け 7
　イヤホンマイクの取り付け 7
各部の名称 8
通話のしかた 9
　電源を入れる／音量調節 9
　チャンネル選択 9
　通話 9
　電源を切る 9
便利な機能 10
　チャンネルスキャン機能 10
　キーロック 11
　グループモード機能 11
　ハンズフリー機能 (VOX) 12
　ベルコール機能 12
　オートパワーオフ機能 13
　ラジャートーン 13
　キートーンオン／オフ 13
　デュアルウォッチ機能（DCM) 14
　バッテリー残量を見る 14
故障かな？と思ったら 15
通話チャンネルについて 16
仕様 17

安全上のご注意

表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容（表示と意味）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う危険性が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 危険

■ バッテリーの取り扱いについて

- 使用にあたり、単４型アルカリ乾電池以外は使用しないでください。液漏れ、発火、破裂させる原因となります。
- 火の中に投入したり、加熱したり、はんだ付けなどしないでください。
- 電池から漏れた液が目に入った時は、失明の恐れがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けて下さい。
- 液が皮膚や衣服に付着した時は、皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 電極をショートさせないでください。

BC-20-UG-20170217-Outline.indd 2 2017/02/17 10:33:23

警告

■ 使用環境・条件

- 交通安全上、運転しながらの交信はお止め下さい。
- 電子機器、特に医療機器の近くでは使用しないでください。
- 航空機内、空港敷地内、新幹線車両内では、使用しないでください。
- 海外では使用できません。

注意

■ 使用環境・条件

- テレビ、ラジオ、ストーブ、電子レンジなどのそばで送信しないでください。
- 車内のダッシュボードやヒーターの吹き出し口など異常に温度が高くなる場所にはおかないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

■ 保守・点検

- お手入れの際は、電源スイッチを切り、バッテリーを外して保管してください。
- 水滴が付いたら、乾いた布で拭き取って下さい。汚れのひどい場合は、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンは使用しないでください。

お客様または第三者が本製品の誤使用、誤設定、使用中に発生した故障、誤動作、不具合あるいは天災や停電等の外部的な要因によって、情報・通信等の機会を逸したために生じた損害等につきまして、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

BC-20-UG-20170217-Outline.indd 3 2017/02/17 10:33:23

電波法に関する注意

＊下記の内容は電波法により禁止されています。

- 本機裏面の技術適合証明ラベルを剥がしての使用
- 本機を分解、改造しての不正使用
- 他人の通話を聞いてこれを人に漏らす行為
- 航空機など、使用を認められていないところでの使用

上記の内容をよく理解して、正しくご使用ください。

ご使用上の注意

- 本機は、特定小電力トランシーバー、9ch 機、11ch 機、20ch 機のトランシーバーと通話することが可能です。
- 通話できる距離は、環境により大きく変わります。目安としまして、見晴らしの良い郊外でおよそ 1 km、市街地でおよそ 100m です。建物などの障害物により通話距離が大きく左右します。
- 本機は防水構造になっておりません。雨の日や水がかかるようなところでの使用は、本体が濡れないように注意して使用してください。
- テレビ、ラジオ、パソコン、蛍光灯のすぐそばでは、電波障害を与えたり、受けたりすることがありますので、これらのものから離れて使用してください。

BC-20-UG-20170217-Outline.indd 4 2017/02/17 10:33:23

BC-20 の便利な機能

- ハンズフリー機能

  ＰＴＴを押さなくても、マイクに向かって話すだけで自動送信されます。

- キーロック

  アクシデントで何かキーが押されても、キー入力を無効にしてくれます。

- モニター機能

  スケルチを強制的にオフにして、かすかな通信を聞くことが出来ます。

- グループ機能

  ３８個のグループで、通話先を限定することが出来ます。

- メニューキー

  メニューキーを押して各種機能設定を行います。（チャンネル選択、グループモード設定、ハンズフリー機能、ベルコール音設定、オートパワーオフ機能、ラジャートーン機能、キートーン設定、デュアルウォッチ機能）

BC-20-UG-20170217-Outline.indd 5 2017/02/17 10:33:23

準備

同梱品の確認

BC-20 本体（２台）

ベルトクリップ（２個）

イヤホンマイク（２本）

取扱説明書（１冊）

電池の取り付け

●本体裏側の電池カバーを取り外します。

●電池の電極に注意しながら、単４電池を４本入れます。
電池は新品の単４アルカリ電池をご使用ください。

●電池カバーを閉めます。

電池に関する注意

- 火の中に投げ込まないでください。
- ショート（短絡）、分解、加熱をしないでください。
- 長時間使用しない時は、電池ケースから取り出して保管してください。
- 古い電池と新しい電池を混ぜて使用すると使用時間が短くなります。
- アルカリ電池には使用期限がありますので、電池に表示されている使用期限をご確認の上ご使用ください。

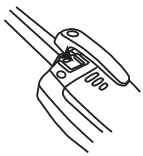
本機の使用可能時間は、約 22 時間です。

注 測定条件は、新品アルカリ単 4 電池を 4 本使用、低周波出力 100mW 時に送信 10 秒、受信 10 秒、待受け 80 秒の繰り返し動作

BC-20-UG-20170217-Outline.indd 6 2017/02/17 10:33:23

ベルトクリップの取り付け

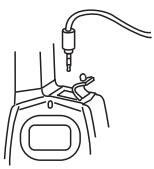
ベルトクリップを本体裏面上部からガイドに沿ってスライドさせる。ベルトクリップの爪が固定されれば、ベルトクリップの取り付けは完了です。



取り外す際は、上部の爪を外しながらベルトクリップを上部へスライドさせます。

イヤホンマイクの取り付け

本体のイヤホンマイクジャックのカバーを外してから、イヤホンマイクのジャックを本体上部のイヤホンマイクジャックに差し込みます。



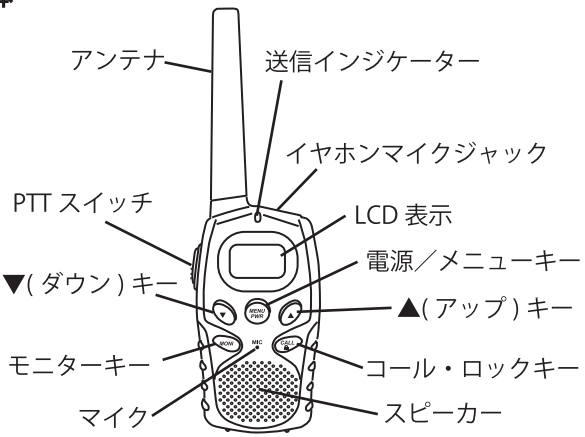
イヤホンマイクに関する注意

正常な状態でご使用中に、製造上の不備に起因する故障が、ご購入後一カ月以内に生じた場合には、当社が無償保証致します。この場合には、ご購入日を証明できる領収書などのご提示が必要です。

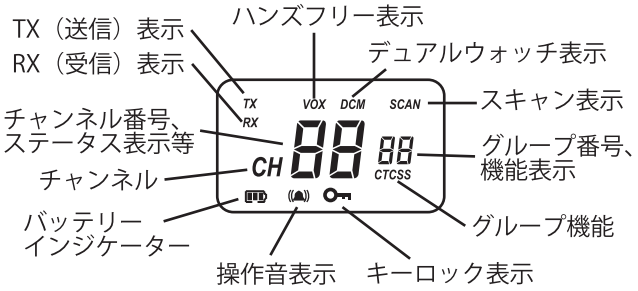
BC-20-UG-20170217-Outline.indd 7 2017/02/17 10:33:23

各部の名称

本体



表示



BC-20-UG-20170217-Outline.indd 8 2017/02/17 10:33:24

通話のしかた

電源を入れる／音量調節

“電源／メニュー”キーを１秒以上押して電源を入れると、チャンネルが表示されます。左右の“アップ / ダウン”キーを押して音量を程よい位置に調整してください。音量は１から８まで選択できます。数字が大きくなるほど音量が大きくなります。

チャンネル選択

“電源／メニュー”キーを短く押すと、チャンネルが点滅を始めます。

チャンネルが点滅をしている間に“アップ / ダウン”キーを押して希望のチャンネルを選択します。９チャンネル機や１１チャンネル機との交信は、“通話チャンネルについて”（16 ページ）をご参照のうえ、選択してください。

通話

“PTT”キーを押すと送信を開始します。送信すると LCD 表示部の **TX** アイコンが点灯し、インジケーターが赤く点灯します。“PTT”キーを離すとインジケーターが消灯し受信待ち受け状態に戻ります。相手からの信号を受信すると LCD 表示部の **RX** アイコンが点灯し受信を開始しスピーカーから相手の音が聞こえます。

電源を切る

電源が入っている時に、“電源／メニュー”キーを 3 秒以上押し続けると電源が切れます。

BC-20-UG-20170217-Outline.indd 9 2017/02/17 10:33:24

便利な機能

モニターキー、電源／メニューキー、コール・ロックキーで各種の機能が働きます。

モニターキー：表示チャンネルをモニターします。２秒以上長押しをするとチャンネルスキャンを行います。

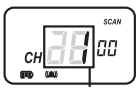
電源／メニューキー：長押しをすると電源のオン・オフを行います。短く押していくと、チャンネル選択→グループ番号の設定→ハンズフリー機能→ベルコールのコール音設定→オートパワーオフ機能→ラジャートーン機能→キートーン設定→デュアルウォッチ機能、の設定が行えます。

コール／ロックキー：ベルコール機能のオン・オフを行います。２秒以上の長押しをするとキーロックが働きます。

チャンネルスキャン機能

通話しているチャンネルを自動的に探します。

1. “モニター”キーを 2 秒以上長押しすると、チャンネルスキャンを開始します。スキャン中は **SCAN** アイコンが点灯します。



1 ～ 20ch をスキャンする

2. チャンネルスキャン中に“アップ”キーを押すとチャンネルが順方向（増加）にスキャンします。“ダウン”キーを押すと、チャンネルが逆方向にスキャンします。
3. 通話チャンネルを見つけると、そのチャンネルで一旦止まり受信します。
4. 受信が終わると、再びチャンネルスキャンが始まります。
5. チャンネルスキャンを終了するには、チャンネルスキャン中に“PTT”キーまたは、“電源／メニュー”キーを押してください。スキャンを終了すると **SCAN** アイコンが消えます。

BC-20-UG-20170217-Outline.indd 10 2017/02/17 10:33:24

キーロック

間違えてキーを押さないように、キーをロックすることが出来ます。

- “コール”キーを2秒以上長押しすると、鍵アイコンが表示され、キーロックが作動します。
- キーロック中に“アップ/ダウン”,“電源／メニュー”キーを押すと、エラートーンが鳴ります。“PTT”キーと“コール”キーはキーロック中も動作します。
- キーロックの解除は、“コール”キーを再び2秒以上押します。鍵アイコンが消えて、キーロックが解除します。

グループモード機能

チャンネル番号とグループ番号を同じ番号にすると、仲間同士だけで通信が出来ます。

1. “電源／メニュー”キーを2回押すとグループ番号表示が点滅します。
2. “アップ/ダウン”キーで**1～38**の希望のグループ番号を設定します。**00**はグループ機能オフの状態です。
3. “PTT”キーを押して、表示されているグループ番号を決定します。(約10秒間操作が無いと、自動で表示のグループ番号に決定される。)

注意

- グループ番号が違う相手が送信しても、音声は聞こえませんが受信状態になります。その時に“PTT”スイッチを押しても送信禁止音が鳴って送信できません。受信状態を示す**RX**のアイコンが出ていない時に送信してください。
- グループ番号はチャンネルごとに設定できます。

BC-20-UG-20170217-Outline.indd 11 2017/02/17 10:33:24

ハンズフリー機能 (VOX)

“PTT” キーを押さずに、マイクに向かって話すだけで、自動的に送信が出来ます。話をやめると、自動的に受信待ち受け状態になります。

この機能は、受信中、確認音が鳴っている時、コールトーンが鳴っている時、スケルチ OFF の時、各機能設定中、は使用できません。

バッテリー容量が少なくなると、この機能は働きません。早めに電池を交換してください。

連続して通話できる時間は３分です。

1. “ 電源／メニュー ” キーを３回押すと **VOX** アイコンが表示され、**OF** または感度の設定数値（**1**～**3**）の表示が点滅します。
2. “ アップ / ダウン ” キーで **1**～**3** を選択する。数字は音声入力の感度調整を表しており、**1** が低感度、**2** が中感度、**3** が高感度です（**3** が一番音に反応しやすい）。ハンズフリー機能を使用しない時は、**OF** を選択する。
3. “PTT” キーを押して決定します。

ベルコール機能

“ コール ” キーを押すと、ベルコール機能が働きます。

ベルコール機能は、コールトーンを送信して相手を呼び出します。呼び出し音は１０種類あります。あらかじめコールトーンの番号を割り振れば、誰からの呼び出しかが分かります。コールトーンの設定は下記の通りです。

1. “ 電源／メニュー ” キーを４回押すと **CA** 表示と共に現在設定されているコールトーンが鳴ります。
2. “ アップ / ダウン ” キーで、コールトーンの種類を選択する。（**1**～**10**）
3. “PTT” キーを押して決定する。

BC-20-UG-20170217-Outline.indd 12 2017/02/17 10:33:24

注意
グループ番号が設定されているときは、同じグループ番号に設定していないと、コール音は鳴りません。

オートパワーオフ機能

何も操作しない状態が設定した時間継続すると自動的に電源が切れます。電源の切り忘れを防止します。

1. “電源／メニュー”キーを5回押して **PO** を表示させる。
2. “アップ / ダウン”キーを押して希望の時間（1時間～ 3 時間）またはオフ（**OF**）を選択する
3. “PTT”キーを押して決定する。

APO 機能の動作状況は表示されませんので、上記操作でオンかオフかを確認してください。

ラジャートーン

送信の最後にトーンを送信して通話の終了を相手に知らせます。

1. “電源／メニュー”キーを6回押して **ro** を表示させる。
2. “アップ / ダウン”キーを押して **ON** または **OF** を選択する。
3. “PTT”キーを押して決定する。

キートーンオン／オフ

操作音のオン／オフを設定します。

1. “電源／メニュー”キーを7回押して (( ))を表示させる。
2. “アップ / ダウン”キーを押して **ON** または **OF** を選択する。
3. “PTT”キーを押して決定する。

(( ))が表示されているときは、キートーンがオンの状態です。

BC-20-UG-20170217-Outline.indd 13 2017/02/17 10:33:24

デュアルウォッチ機能（DCM)

希望の２つのチャンネルが交互に待ち受け状態になります。どちらかから通信があった場合は、そのチャンネルで通話が出来ます。通話終了後は、再度デュアルウォッチに戻ります。

1. “電源／メニュー”キーを８回押して **DCM** アイコンを表示させる。
2. “アップ / ダウン”キーで、**ON** または **OF** を選択します。デュアルウォッチ機能を使用するときは **ON** を選択して“電源／メニュー”キーを押します。
3. **ON** を選択するとチャンネル番号が点滅するので、“アップ / ダウン”キーで希望のチャンネルを選択して“電源／メニュー”キーを押す。
4. チャンネルを選択するとグループ番号が点滅するので、“アップ / ダウン”キーで希望のグループ（または **OF**）を選択する。
5. “PTT”キーまたは“電源／メニュー”キーを押して決定する。

注意
“電源／メニュー”キーを押す前のチャンネルと、２で設定したチャンネルを待ち受けます。

デュアルウォッチ中は、設定したチャンネルを交互に表示します。

デュアルウォッチを解除するには、２の操作で、**ON** ではなく、**OF** を選択してください。

バッテリー残量を見る

バッテリー表示の 3 本のバーが、全て表示されている状態であれば、問題なく使用することが出来ます。容量が少なくなると、バーの本数が少なくなります。その際は、注意して使用して頂き早めに電池を交換してください。このバッテリー残量表示はあくまでも目安です。

BC-20-UG-20170217-Outline.indd 14 2017/02/17 10:33:24

故障かな？と思ったら

もしも不具合が生じた場合、修理を依頼される前に下記の表により確認してください。該当する症状がない場合は、下記の手順でリセットを行ってください。

●電池を 1 本外す　→　●電源／メニューキーを押しながらその電池を入れます　→　●リセットが完了すると CH1 に戻ります

症状	原因	処置
電源が入らない	電池が消耗している	電池を新しいものに入れ替える
	電池の向きが間違っている	電池を正しく挿入する
音量レベルを大きくしても音が出てこない	グループ番号が違う	グループ番号を合わせる
相手と通話できない	チャンネルかグループ番号が違う	チャンネル、グループ番号を合わせる
	相手との距離が離れすぎている	通話できる距離を目安に通話する
電池の消耗が早い	古い電池が混じっている	4 本すべて新品の電池を使用する
音が鳴りっぱなしになる	モニター状態になっている	MONI キーを押してモニター状態を解除する
勝手に送信したり送信しっぱなしになる	VOX 機能が有効になっている	VOX 機能を無効にする
送信できない	RX（受信アイコン）が点灯している	チャンネル番号を変更するか、受信アイコンが消えるのを待つ
何も聞こえないのに RX（受信アイコン）が点灯する	同じチャンネルで別のグループ番号を使用している	別のチャンネルに移動する

故障やお取り扱い方法のご相談は：

store@compass-blue.jp

BC-20-UG-20170217-Outline.indd　15　2017/02/17　10:33:24

通話チャンネルについて

既に本機以外のトランシーバーをお持ちの場合、通話チャンネルを合わせることで、本機と交信することが可能です。

通話チャンネル適合表

本機および多数の20ch 機	11ch 機	9ch 機	他表示タイプの20ch 機
ch1	ch1		ch1
ch2	ch2		ch2
ch3	ch3		ch3
ch4	ch4		ch4
ch5	ch5		ch5
ch6	ch6		ch6
ch7	ch7		ch7
ch8	ch8		ch8
ch9	ch9		ch9
ch10	ch10		ch10
ch11	ch11		ch11
ch12		ch1	ch h1
ch13		ch2	ch h2
ch14		ch3	ch h3
ch15		ch4	ch h4
ch16		ch5	ch h5
ch17		ch6	ch h6
ch18		ch7	ch h7
ch19		ch8	ch h8
ch20		ch9	ch h9

BC-20-UG-20170217-Outline.indd 16 2017/02/17 10:33:24

仕様

送受信周波数	422.050 ～ 422.175 MHz（ 12.5kHz 間隔 ）
	422.200 ～ 422.300 MHz（ 12.5kHz 間隔 ）
電波形式	F3E
送信出力	10 mW
受信感度	-8dBu 以下 (12dB SINAD)
電源電圧	DC6V（ 単４型電池４本）
使用時間	約２２時間 （**注**）
動作温度範囲	-10℃～ +50℃
寸法	約 90（高さ）x 50（幅）x 19（奥行き）mm
重量	約 92g

注 測定条件は、新品アルカリ単４電池を４本使用、低周波出力 100mW 時に送信１０秒、受信１０秒、待受け８０秒の繰り返し動作

BC-20-UG-20170217-Outline.indd 17 2017/02/17 10:33:25

保証規定

本取扱説明書の最終ページに保証書を添付しています。保証書にはご購入店様が発行する販売証明または購入履歴を添付して保管してください。

内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間は、商品のお買い上げ日より一年間です。

修理を依頼される前に、「故障かな？と思ったら」（15 ページ）を参照していただき、解決されないようでしたら、本機の電源を切り、お買い求めの販売店または弊社にお問い合わせください。

修理に出す前に、お客様が設定したデータをお控えください。修理内容によっては、全てのデータが削除される場合があります。

本機の不具合により通話不能などにより発生した損害、被害につきましては、弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

正常な使用で故障した場合、保証書の規定に従い、お買い求めの販売店または弊社で、修理をさせて頂きます。その際は、必ず保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎましたら、お客様の希望により有料にて修理致します。

お買い求めの販売店または弊社までご相談ください。

BC-20-UG-20170217-Outline.indd 18 2017/02/17 10:33:25

無料保証規定

1. 保証期間内に、取扱説明書、添付ラベル等の注意書きに従って正常に使用し故障した場合、無料修理させていただきます。
2. 無料修理を受ける場合、お買い求めの販売店または、弊社まで保証書を添えてご依頼ください。
3. 御贈答品で保証書に記載されている販売店に修理の依頼が出来ない場合は、弊社まで御相談下さい。
4. 次の場合は、保証期間でも有料修理になります。

（イ）保証書および、販売証明または購入履歴にお客様名、販売店名、お買い上げ年月日の記入がない場合。（もしくは字句を書き換えた場合）

（ロ）使用上の誤りや不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因で生じた故障及び損傷。

（ハ）故障の原因が本機以外の製品にある場合。

（ニ）落下、冠水などによる故障及び損傷

（ホ）火災、地震、風水害、落雷、塩害、その他天災地変などの不慮の事故による故障及び傷害。

（ヘ）製造番号の改変もしくは取り外した製品

（ト）消耗部品（充電池、バッテリー等）

イヤホンマイクに関しては、正常な状態でご使用中に、製造上の不備に起因する故障がご購入後一カ月以内に生じた場合には、当社が無償保証致します。この場合には、ご購入を証明できる販売証明または購入履歴などのご提示が必要です。

保証は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan)

＊この保証は本書に明記した期間、条件において無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間終了後の修理などについて、不明な点はお買い求めの販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

BC-20-UG-20170217-Outline.indd 19 2017/02/17 10:33:25

COMPASS　保証書　持込修理

保証期間中は正常な使用状態で故障した場合、保証書の規定により無料修理させて頂きます。

修理に際し、お問い合わせ時にお客様のお名前、ご購入日、ご購入店舗、症状などを弊社までご連絡願います。その後、修理品、本保証書、購入履歴（または販売証明）を送付いただき、無償修理を行います。

本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

お客様へのお願い

修理の際は、お手数ですがご購入年月日をお書き添えのうえ、ご住所、お名前、電話番号等が記載された購入履歴（または販売証明）を添付してください。

商品名	特定小電力トランシーバー	BC-20	
保証期間	1 年間	購入年月日	年　月　日

株式会社　コンパス

store@compass-blue.jp

BC-20-UG-20170217-Outline.indd　20　2017/02/17　10:33:25